ナガマツ準決勝へ弾み

次はタカマツと

【東京】バドミントンの第73回全日本総合選手権大会（日本バドミントン協会主催）第4日は29日、東京の駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で各種目の準々決勝を行った。女子同は芽室町出身の永原和可那（北都銀行―青森山田高、芽室中出）・松本麻佑（北都銀行、札幌出身）組が、栗原文音・篠谷菜留組（日本ユニシス）を2―0で破って準決勝に駒を進めた。男子同の岡村洋輝（日本ユニシス―埼玉栄高、帯一中出）・小野寺雅之（早大）組は三上楓・霜上雄一組（日体大）に2―1と競り勝ち、2年連続の4強入り。混合ダブルスの保木卓朗・永原組（トナミ運輸・北都銀行）は1―1となったところで、保木の右肩痛のため棄権した。（北雅貴、金野和彦）

【女子ダブルス・準々決勝】第1ゲーム、激しく打ち合う北都銀行の永原和可那（右）。左はペアの松本麻佑

バドミントン全日本総合選手権

「思い強く」ライバル撃破を

準々決勝も快勝

「まだ一度も勝ったことのない相手だったので、挑戦するつもりで臨んだ」。慌てることなく、常にリードを奪ったままストレートで勝利した永原和可那は冷静に話した。

永原が後衛で鋭いスマッシュを放って相手を崩し、前衛の松本麻佑が甘い返球を何度もたたき込んだ。相手が2人とも下がり過ぎたと見るや、ネット際にぽとりと落とすなど自在。永原もレシーブを空いているスペースにしっかりと狙って返すなど安定していた。松本は「リラックスして良い配球ができた」と納得の表情を浮かべた。

第2ゲームの3―2の場面では、永原が見送ったサイドライン際のシャトルがインとなり、ビデオ判定のチャレンジを要求。結果が出るまでに時間がかかった。松本は「流れが悪いときはまだいいが、体も冷えるし、（今後）チャレンジしたくてもちゅうちょしそう」と苦笑いした。

これまで絶好調でない中での3試合で、1ゲームの最多失点は16点にとどめている。1ゲームも落としておらず、終盤の接戦にさえ持ち込ませていない。世界女王の貫禄たっぷりだ。準々決勝の第2ゲームも8―8から突き放し、18―11にして以降は、失点しながらも点差を冷静に保った。

全日本総合選手権は2年連続で準決勝敗退。国際試合でも直近の香港オープンなど4大会連続で決勝へ一歩届いていない。永原は「準決勝の壁を破れていないので、思いは強い。きょう以上のプレーで勝ちたい」と力を込めた。さらに集中力を高めて30日正午すぎ、リオデジャネイロ五輪金メダルの高橋礼華・松友美佐紀組（日本ユニシス）戦のコートに立った。東京五輪の代表を争うライバル。今大会はオリンピックレースとは関係はないが、強さを見せつけたいところだ。

かちまいスポーツ

記録の速報は▼kachimai.mobi　Eメール▼sports@kachimai.co.jp

写真がほしい▼0120-25-9410　ファクス▼0155-25-2700

岡村 4強入り

【男子ダブルス・準々決勝】第1ゲーム、緩急を付けてシャトルを打ち返す日本ユニシスの岡村洋輝（手前）。奥はペアの小野寺雅之（早大）

最終ゲームで逆転「何とか勝てた」

苦しみながらも何とか振り切った。岡村洋輝・小野寺雅之組が格下の大学生ペアに59分間の戦いの末に辛勝。岡村は「負け試合を何とか勝てた。サーブやラリーでの簡単なミスが多くてひどい内容だった」と猛省した。

大柄で力のある三上楓のスマッシュやドライブに手を焼いた。第1ゲームこそ終盤に逆転して奪ったが、勢いを継続するには至らず第2ゲームは劣勢を挽回できないまま終えた。「パワーがある選手に対して気持ちが引いてしまい、シャトルを上げてばかりになった。気持ち良く打たせてしまった」と岡村は振り返った。

気持ちを入れ直した最終ゲームは中盤に小野寺のサーブや、岡村のドライブとスマッシュなどで初めてリードして折り返し、最後は点差を詰められながらも逃げ切った。前日にNTT東日本の難敵ペアに勝利し、この日は有利な相手と見られていただけに、小野寺は「気持ちが甘かった。1、2回戦より緊張した」と流れる汗を拭った。

準決勝は昨年も対戦して決勝進出を阻まれた、日本A代表の遠藤大由・渡辺勇大組（日本ユニシス）と戦う。前回は5―21、11―21と完敗だった。小野寺は「リベンジする。持てる力を全部出したい」と闘志を燃やしてコートに向かった。

【男子】◇ダブルス◇準々決勝（関係分）
岡村洋輝・小野寺雅之（日本ユニシス―埼玉栄高、帯一中出）2（21―17、21―19）1 三上楓・霜上雄一（日体大）
西川裕次郎・尾崎沙織（NTT東日本）1（23―21、18―21）2 保木卓朗・永原和可那（トナミ運輸・北都銀行）

【女子】◇ダブルス◇準々決勝
永原和可那・松本麻佑（北都銀行―青森山田高、芽室中出）2（21―16、21―15）0 栗原文音・篠谷菜留（日本ユニシス）

【混合】◇ダブルス◇準々決勝
保木卓朗・永原和可那（トナミ運輸・北都銀行）1（21―18、21―12）1 西川裕次郎・尾崎沙織（NTT東日本）

吉田・長尾組制す

全十勝中学生室内ソフトテニス

【新得】ソフトテニスの全十勝中学生室内大会兼第46回道中学生インドア大会予選会（帯広ソフトテニス連盟主催、全十勝中体連共催）が23日、新得町サホロアリーナで行われた。男子決勝は吉田麗壱・長尾征宗組（帯八千代2年）が和田迅斗・千葉十斗組（帯南町同）を4―2で破って優勝し、女子同は猪股麗・堀心優組（帯八千代同）が4―3で前田郁愛・佐藤里佳組（池田同）に競り勝って頂点に立ち、帯八千代が男女を制した。10月に帯広の森テニスコートで行われた1次予選会で男女ベスト16になったペアが出場した。男女各上位5組が来年1月10日に札幌で行われる道大会兼第31回都道府県対抗全日本中学生大会道予選会に出場する。

【男子】▽準々決勝
吉田麗壱・長尾征宗（帯八千代）4―0 北岡晟・高橋奏良（帯西陵）
結城睦己・青山健登（帯南町）4―0 石垣颯良・吉田佑槻（幕別）
和田迅斗・千葉十斗（帯南町）4―1 村上凪月・吉木佑太（帯緑園）
松岡悠平・小泉隆（帯南町）4―3 本多公暉・高野敏矢（帯一）
▽第5代表決定戦
▼1回戦
石垣・吉田 4―1 村上・吉木
▼決定戦
村上・吉木 4―2 石垣・吉田
▽準決勝
吉田・長尾 4―0 和田・千葉
▽決勝
吉田・長尾 4―2 結城・青山
和田・千葉 4―0 松岡・小泉

【女子】▽準々決勝
高瀬美咲・水口歩美（更別中央）4―3 守岡葵・小野寺彩花（帯翔陽）
前田郁愛・佐藤里佳（池田）4―2 和田・千葉
石橋花菜・野田望結（帯翔陽）4―1 林中朱里・中屋敷吏沙（更別中央）
猪股麗・堀心優（帯八千代）4―0 益田璃音・今井優来（更別中央）
林中・中屋敷 4―2 森谷格月・樋口美夢（共栄）
森谷・樋口 4―0 益田・今井
▼1回戦
前田・佐藤 4―2 高瀬・水口
猪股・堀 4―1 石橋・野田
▽準決勝
前田・佐藤 4―3 森谷・樋口
▽決勝
猪股・堀 4―3 前田・佐藤

窪田・大内組初V

勝毎杯全十勝男子室内ソフトテニス　2位は高嶋・藤原組

【池田】ソフトテニスの第44回勝毎杯全十勝男子室内大会（池田ソフトテニス連盟主催、十勝毎日新聞社共催）が17日、町総合体育館で開かれ、今大会で初めてペアを組んだ窪田大志・大内宏樹組（帯農高・スポーツシード）が初優勝を飾った。準優勝は高嶋拓斗・藤原拓海組（スポーツシード・道科学大）、3位は川原丈太郎・阿部柊希組（スポーツシード）と矢吹涼太・大嶋敏史組（帯広地方卸売市場・帯農高）だった。

大会には23組が出場し、予選リーグを勝ち抜いた8組で決勝トーナメントを競った。（水上由美通信員）

大会の上位入賞ペア。（前列左から）優勝した大内・窪田組、準優勝の高嶋・藤原組、（後列左から）3位の川原・阿部組、矢吹・大嶋組

先輩とのペア　緊張ほぐれた

窪田・大内組

○…この大会2連覇中の大内宏樹（26）は、母校・帯農高の後輩である1年の窪田大志（15）と今大会初めてペアを組んだ。

大内は「まだ1年生の窪田が自分のプレーを見て今後に生かしてもらえれば」と指導する気持ちで挑んだが、終わってみれば大会の頂点に立った。大内は「結果、優勝できたのは良かった」と話す。窪田は「大内さんのプレーで緊張もほぐれ、モチベーションを上げることができた」と感謝していた。

2人は、予選から順調に勝ち上がり、決勝では高嶋・藤原組に4―0と快勝。大内は、違うプレーヤーとペアを組みながら、この大会で自身の3連覇を達成した。

▽準々決勝
窪田・大内（帯農高・スポーツシード）4―0 久保・前多（帯大谷高）
川原・阿部（スポーツシード）4―0 廣田・和田（とかち）
矢吹・大嶋（帯広地方卸売市場）4―3 腰山・細川（スポーツシード）
高嶋・藤原（スポーツシード・道科学大）4―1 関・川田（池田）
▽準決勝
窪田・大内 4―2 川原・阿部
高嶋・藤原 4―1 矢吹・大嶋
▽決勝
窪田・大内 4―0 高嶋・藤原

男子の上位入賞ペア

女子の上位入賞ペア

第4回清水町リーグ

（21日・清水町アイスアリーナ）

◇A級
清水町役場 8（3―1、1―3、4―3）7 帯広しんきんファイターズ
▽得点者【清】城6、菅原、杉本【帯】小川3、渡辺2、田村、春木
▽アシスト【清】菅原4、上本3、城【帯】梶2、奥山2、熊谷、春木、小川、渡辺、八角
▽反則【清】0【帯】0
▽シュート数【清】23【帯】29
（23日・同）

◇C級
御影大貫寺BOS 12（2―0、3―0、0―0）0 かちまい OWLET
▽得点者【御】佐藤2、顎宮2、長谷川、倉井2、宮崎2、山崎、高木、島田
▽アシスト【御】佐藤2、長谷川2、山崎2、篠原2、島田2、宮崎2、大内2、高木2、倉井
▽反則【御】0【か】0
▽シュート数【御】48【か】12
（25日・同）

◇B級
御影午年倶楽部 8（4―1、2―1、2―3）5 ボンバーズ
▽得点者【御】梅森3、小笠原2、佐久間2、三好【ボ】梶谷2、鉾館圭、五十嵐、佐藤
▽アシスト【御】小笠原3、杉田2、佐久間、井川【ボ】ピーターホー、石川、大河内
▽反則【御】0【ボ】0
▽シュート数【御】54【ボ】23
（26日・同）

◇A級
チームIKAGMEE 15（5―2、3―3、7―2）7 芽室町役場
▽得点者【チ】高橋浩5、里村4、表3、山本、高橋大、村上【芽】中島3、近藤2、穴吹、梅森
▽アシスト【チ】里村5、高橋浩4、高橋大4、飯嶋4、表2、村上、志田、山本【芽】喜瀬2、梅森2、玉村
▽反則【チ】0【芽】0
▽シュート数【チ】41【芽】26